

自 己 点 検 表

1. 教員個別表

フリガナ ヤマザキ ヒロ フミ 氏 名 山 崎 洋 史	職 名 教 授 人間学部 心理福祉学科	取 得 学 位 博士(海洋科学) (大学名) 東京海洋大学 (取得年月) 2013 年 3 月 取 得 学 位 博士(宗 教 学) (大学名) 國學院大學 (取得年月) 2020 年 3 月
--	--	--

2. 教育・研究業績表

(1)過去 5 年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
① 教育内容・方法の工夫 ・プロジェクト・ベースト・ラーニング(世田谷区連携プロジェクト名) 「世田谷区 若者のこころの居場所 アイリス」 ・「教育心理学」(2 年次) 授業におけるロールプレイング 及びフィードバック、アクティブラーニング ・心理学ピア・ラーニング合宿	2015 年 4 月～ 2021 年 3 月迄 2008 年 4 月～ 2021 年 3 月迄 2017 年 4 月～ 2021 年 3 月迄	東京都世田谷区長及び子ども若者部と、大学山崎研究室の地域連携プロジェクト。 文科省提唱から始まる「心の居場所」「若者の居場所づくり」として、世田谷区分庁舎(三軒茶屋)一室を委嘱され、週 2 回「若者のこころの居場所 アイリス」と命名し地域の高校生から 25 歳までの女性対象の各発達に応じた心の居場所づくり企画・運営。 臨床心理専攻の大学院生がボランティア活動の一環として運営。 (instagram :https://www.instagram.com/iris_ibasyo/?hl=ja) (X : https://x.com/irits_sancha) 「教育心理学」(2 年次)の授業において、ロールプレイ、ゴールセッティングエクササイズ、セルフモニタリングを実施。各発達段階における理論と学習支援体験。 人間関係ゲームによるグループ合宿を年に 2 回・2 泊 3 日の大学研修施設で企画・実施。心理学的集団体験及びピア・フィードバックを中心に、学生によるテーマ・エクササイズ等自主企画合宿を実施。大

・コミュニティ・サービス・ラーニング 「心理支援 CSL」 ・「臨床心理学」(3年次)・「臨床心理学概論」(2年次)授業における ZOOM 遠隔ロールプレイング及びフィードバック ・「教育実践演習(中高)」授業における 宮城県公立小中学校教育指導者との協働学習 ・アクティブラーニング ・「心理調査概論」授業における 東北大学学部・大学院学生(理系)との協働学習 ・ピア・ラーニング	2011 年 4 月～ 2021 年 3 月迄 2020 年 4 月～ 2021 年 3 月迄 2021 年 4 月～ (現在に至る) 2023 年 4 月～ (現在に至る)	学よりプロジェクト予算獲得。 東京都区市教育委員会・神奈川県市教育委員会・国立青少年センター等と連携し、21 自治体・団体における学生ボランティア経験を授業単位とした。 フィードバック、シェアリング、プレゼンテーションを毎年実施。不登校支援、学修支援などを通じた心理支援の実践(コミュニティボランティア)。年末に学生・自治体・教員参加の成果発表会を実施し成果のシェアリングを実施。 コロナ禍中で導入された大学リモート授業(ZOOM)において、カウンセリング面接ロールプレイ及びフィードバック、シェアリングを実施。ブレイクアウトルーム及びチャット、投票機能等などの活用による双方向スキル学習の深化。学生からの評価が極めて高かった。アフターコロナの授業における大きな示唆が得られた。 宮城県小中学校で指導的立場にある教育委員会指導主事・教諭・管理職による協働学習の実施。学校教育現場における効果的実践と、模擬体験を通じた児童生徒ロールプレイによる気付き促進とモチベーションの向上を企図したアクティブラーニング。 学校教育に対する具体的イメージの醸成の視点から学生の評価が極めて高い。 「心理支援」を深化させるためのベースライン・アセスメントにおいて、心理調査法(科学的アプローチ)を深化させることは極めて重要である。本学文化系学部の心理福祉系学だけではなく、東北大医学・工学などの理系学部・大学院生との協働学習の実施。問題の明確化、先行研究リサーチ、仮説設定、調査項目の精選、グーグルフォームによる調査実施、多変量解析、高圧に至る、科学的リサーチの方法のアクティブラーニング。 理系学生のデータと技術を用いた心理福祉上の課題解決に取り組
--	---	---

② 作成した教科書（一部再掲） ・「教育の最新事情」（共著） ミネルヴァ書房 ・「学校教育とカウンセリング力」（単著）学文社 ・「新はじめて学ぶメンタルヘルスと心理学」（共著）学文社 ・「児童心理 子供の心をつかむ先生「その場に合った自己開示のできる先生」（共著）金子書房 ・「学校教育相談の理論・実践事例集 いじめの解明 学校コンサルテーションの展開」（共著）第一法規 ・「救助人材育成ガイドライン」（有識者執筆協力）総務省消防庁 ・「訓練効果を高めるための救助訓練指導マニュアル」（有識者執筆協力）総務省消防庁 ・「多様化する救助事象に対応する救助体制のあり方に関する高度化検討会（救助人材育成）報告書」（有識者執筆協力）総務省消防庁 ③ 教育方法・実践に関する発表、講演 ・「教育技法」講演、全国自治体において多数	2009 年 8 月 2009 年 11 月 2017 年 4 月 2018 年 9 月 2021 年 3 月 2023 年 3 月 2023 年 3 月 2023 年 3 月 年間数十回	みに対しての気づきの視点から学生の評価が極めて高い。 教員免許状更新講習講座 講師「教育の最新事情」 学校教育における児童・生徒・教師に対する心理支援 心理学概論書 小学校教職員対象の教書。クラス運営における教師の自己開示の重要性に関する内容 教職を目指す学生及び、学校教職員対象の教書。いじめ対応に関する学校コンサルテーションの展開に関する概論。 消防隊員教育における救助隊長としてのマインドや、現場・訓練指導における理想的な救助隊長像をもとにした指導ガイドライン 消防隊員教育における訓練効果を高めるため救助訓練指導の流れ、隊員の主体性を高める訓練指導のポイント、効果的な振り返り手法指導マニュアル 「救助人材育成ガイドライン」「訓練効果を高めるための救助訓練指導マニュアル」及び動画の活用の周知、全国の救助隊長及び救助隊員の育成に関する実態、課題及びニーズの把握と共に、必要な見直しを行いながら、時代に即した救助人材の育成について、検討していくこと。および、消防大学校と協働して、救助人材の養成及び育成に努めること。などの育成マニュアル・ガイドラインの概説。 全国各自治体（総務省消防庁・法務省・教育）初級・中級・上級幹部対象講演、「教育技法」「発達に関する理解」他
---	---	--

・ 都県教育委員会、市教育委員会等における教員研修等 ・ 学会ワークショップにおける講演多数 ex. ワークショップ（2023 年） 「学校教育相談実践を、心理学論文（科学論文）に仕上げる方法 ー現場に応じた素晴らしい実践活動の成果を次世代に繋いでいく ためにー ex. 講演（2023 年） ・「人を育てるための教育技法ー救命救急セミナー」 他 多数	〃 2023 年 8 月 2023 年 9 月	学校管理職研修、現職教師対象講演「認知行動的セルフモニタリング」「メンタルヘルス」「認知教育」「心理教育」等 日本学校教育相談学会、国家資格キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、他、「教育心理学」「臨床心理学」「心理教育」「心理アセスメント」「認知行動療法」等 日本学校教育相談学会 第 35 回総会・研究大会 （新潟大会） 第 41 回福岡救急医学会 学術集会 電気ビル共創館（福岡市天神） 〃
---	--	---

（2）過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月（西暦）	発行所、発表雑誌 （巻・号数）等の名称	共著者名 （共著の場合）	編者名と当該執筆 者数（編著の場合）	該当頁数
〔著書〕 青年期食行動異常と認知行動的セルフモニタリング	単著	2015 年 7 月	学文社 JSPS 科学研究助成事業 （科学研究費補助金） （研究成果公開促進費） （心理学分野 学術図書）			
児童心理小学一・二年生の家庭教育こんなとき どうする?具体例と対処法「朝になると登校を渋 ります」	共著	2016 年 3 月	金子書房		有村久春 他	102－105 頁
新はじめて学ぶメンタルヘルスと心理学 第 2 章 知ることの過程	共著	2017 年 4 月	学文社	吉武光世 他		17－50 頁

1. 認知のメカニズム 2. 記憶システム 第3章 心の発達 1. 発達のとらえ方」 第7章 ころを診る 9-4. 認知行動療法						94-110 頁
児童心理 子供の心をつかむ先生 「その場に合った自己開示のできる先生」	共著	2018 年 9 月	金子書房		有村久春 他	25-31 頁
学校教育相談の理論・実践事例集いじめの解明 「学校コンサルテーションの展開」	共著	2021 年 3 月	第一法規		今井五郎 他	3-14 頁
新版 訓練指導・統制マニュアル	有識者 協働	2021 年 6 月	東京法令出版	東京消防庁		第1部
宗教と認知行動的セルフモニタリング ー青年期の適応を通じてー	単著	2022 年 3 月	学文社 JSPS 科学研究助成事業 （科学研究費補助金） （研究成果公開促進費） （心理学分野 学術図書）			
救助人材育成ガイドライン	有識者 協働	2023 年 3 月	総務省消防庁	総務省消防庁		
訓練効果を高めるための 救助訓練指導マニュアル	有識者 協働	2023 年 3 月	総務省消防庁	総務省消防庁		
〔論文〕						
コミュニケーション活動を取り入れたキャリア デザインサポートの研究 ー体験的科目参加前後における学生の教職へ の意識及び共感性検討ー （査読付）	共著	2015 年 3 月	学苑(893号), （昭和女子大学）	岩瀧大樹		77-85 頁

発達障害を抱える女子生徒の学校適応過程に関する事例研究 ー中学校教育相談室での2年間の支援からー (査読付)	共著	2015 年 3 月	生活心理研究所紀要 17, (昭和女子大学)	岩瀧大樹 他		37－43 頁
大学生のキャリアデザインサポートに関する研究Ⅱ ー目標達成方略に焦点を当てた探索的検討ー (査読付)	共著	2015 年 4 月	群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編第 64 巻, (群馬大学)	田島祐奈 他		23－34 頁
教職志望学生のメンタルヘルスに関する研究 ー教育実習事前におけるサポートの検討ー (査読付)	共著	2015 年 4 月	群馬大学教育実践研究(第 32 号)(群馬大学)	岩瀧大樹		49－58 頁
集団宿泊体験による学校移行に関わる不適応予防の検討Ⅰ ー複数の小規模小学校を対象とした合同事前 介入の試験的実践ー (査読付)	共著	2015 年 8 月	教職研究(第 25 号), (立教大学 教職課程)	岩瀧大樹		97－108 頁
女子大学生における進路選択に対する自己効力 及び社会人基礎力の研究 (査読付)	共著	2016 年 2 月	学苑 人間社会科学部紀要(第 904 号)(昭和女子大学)	田島祐奈 他		10－20 頁
コミュニケーション活動を取り入れたキャリア デザインサポートの研究Ⅱ ー子どもへのサポート体験を通じた学生のリ ーダーシップおよび協働作業に対する意識の 変容 (査読付)	共著	2016 年 3 月	群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編第 65 巻, (群馬大学)	岩瀧大樹		25－36 頁
スクールカウンセラーによる LD 傾向の男子中学 生への援助事例研究	共著	2016 年 4 月	教職研究 28, (立教大学 教職課程)	岩瀧大樹		47－59 頁

ー学習サポートおよび学級担任とのコンサルテーションを中心にー (査読付)					
青年期版不器用さの自己認知尺度作成の試み ー運動経験と過去・現在の自己認知の検討ー (査読付)	共著	2016 年 10 月	群馬大学教育実践研究 (34 号) (群馬大学)	林由紀子 他	17-26 頁
進路選択における自動思考と対処行動が進路選択自己効力に及ぼす影響 (査読付)	共著	2017 年 2 月	学苑 人間社会学部紀要 (916), (昭和女子大学)	田島祐奈 他	1-11 頁
宗教観と青年期適応に関する研究 ー宗教観・信仰の有無と適応感・アイデンティティ確立の因子間相関ー (査読付)	単著	2017 年 2 月	國學院大學大学院紀要 ー文学研究科ー第 48 号 (國學院大學)		61-77 頁
青年期の不器用さの自己認知 ーコミュニケーション・スキルおよび適応感との関連ー (査読付)	共著	2017 年 3 月	生活心理研究所紀要 19 (昭和女子大学)	林由紀子 他	71-82 頁
大学生のキャリア形成過程における Planned Happenstance Skills と精神的健康度の関連 (査読付)	共著	2017 年 3 月	群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 66 巻 (群馬大学)	田島祐奈 他	31-40 頁
青年期の昇進意欲尺度作成の試み ー男女差に着目してー (査読付)	共著	2018 年 1 月	群馬大学教育実践研究第 35 号 (群馬大学)	渡邊洋子 他	27-36 頁
心理的居場所感が対人ストレスコーピングに与える影響 ー青年期のシャイネスに注目してー (査読付)	共著	2018 年 1 月	群馬大学教育実践研究第 35 号 (群馬大学)	渡邊美咲 他	37-48 頁

宗教観と青年期適応に関する研究 ー宗教観認知行動的変数およびストレスコーピングに関する相関研究ー (査読付)	単著	2020 年 2 月	國學院大學大学院紀要 ー文学研究科ー第 51 号 (國學院大學)			25ー44 頁
宗教と認知行動的セルフモニタリングに関する研究	単著	2020 年 3 月 (2021 年 4 月)	國學院大學大学院文学研究 科神道学・宗教学専攻 博士 学位論文 2021 年度 JSPS 科学研究助成 事業(科学研究費補助金)(研 究成果公開促進費)(心理学 分野 学術図書)決定(再掲)			
心理的居場所が過剰適応傾向に及ぼす傾向 (査読付)	共著	2020 年 3 月	生活心理研究所紀要 22 (昭和女子大学)	三浦はるか		47ー58 頁
心理専門家への援助要請行動を阻害する認知構造モデルの検討 ー完全主義認知と恥感情に着目してー (査読付)	共著	2021 年 3 月	生活心理研究所紀要 23 (昭和女子大学)	松田琴音		87ー102 頁
コロナ渦における不登校支援に関する研究 ー遠隔授業 (Zoom 利用) による学校不適応感の向上ー (査読付)	単著	2022 年 6 月	学校教育相談研究 第 31 号 (日本学校教育相談学会)			1ー8 頁
スピリチュアリティの変化とスピリチュアルペイン減少の相関について (査読付)	共著	2024 年 6 月	印度学宗教学会論集第 50 号	徳増平、 谷山洋三		140-114 頁
スピリチュアリティと認知行動的セルフモニタリングに関する研究 ー宗教観構造の因子分析 (主因子法 Promax 回転) による再検討ー (査読付)	単著	2025 年 3 月	人間学研究センター紀要第 2 号 (仙台白百合女子大学)			11ー19 頁

学校教育相談における第三世代認知行動的カウンセリングに関する基礎的研究—スピリチュアリティ認知構造の因子分析(最尤法 Promax 回転)による再検討—	単著	2025 年 6 月	学校教育相談研究 第 35 号 (日本学校教育相談学会)			16—24 頁
--	----	------------	---------------------------------	--	--	---------

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
ストレス認知理論を用いた高齢者家族介護者の心理的因果モデルの検討 —ソーシャルサポートと家族機能に着目して—	2015 年 5 月	第 16 回日本認知症ケア学会大会 (北海道医療大学)
宗教観がアイデンティティ確立と適応に及ぼす影響	2015 年 9 月	宗教研究第 88 巻別冊 第 73 回学術大会紀要 日本宗教学会 (同志社大学)
宗教観が青年期適応に及ぼす影響 —集団的および個人的認知変数—	2016 年 9 月	宗教研究第 89 巻別冊 第 74 回学術大会紀要 日本宗教学会 (創価大学)
宗教観と青年期適応に関する研究 —認知行動的変数相関—	2017 年 9 月	宗教研究第 90 巻別冊 第 75 回学術大会紀要 日本宗教学会 (早稲田大学)
学内運動を促進する大学システムの構築に関する考察 —大学管理職としての全学的学生支援システムの改善と確立—	2018 年 5 月	第 36 回日本学生相談学会 (関東学院大学)
宗教観が青年期適応に及ぼす影響 —主観的幸福感とストレス—	2018 年 9 月	宗教研究第 91 巻別冊 第 76 回学術大会紀要 日本宗教学会 (東京大学)
日本学校教育相談学会発足 30 周年シンポジウム記念企画 学校教育相談 30 年の歩み —その未来を展望する— 企画・シンポジスト講演	2018 年 8 月	第 30 回日本学校教育相談学会総会・研究大会(東京大会) (昭和女子大学)
学内運動を促進する大学システムの構築に関する考察 —全学的学生支援システム構築と大学における HR 担当教員(クラスアドバイザー)	2020 年 5 月	第 38 回日本学生相談学会 (九州大学)

ザー)制度ー		
宗教と青年期適応に関する研究 ー個人認知変数と抑うつスキーマー	2020 年 9 月	宗教研究第 93 巻別冊 第 79 回学術大会紀要 日本宗教学会 (駒澤大学)
宗教と認知行動セルフモニタリングに関する研究 ー臨床事例研究ー	2021 年 9 月	宗教研究第 94 巻別冊 第 80 回学術大会紀要 日本宗教学会 (関西大学)
宗教の認知行動的適応御支援における役割 ー効果要因分析から見えてくるものー	2022 年 12 月	神道宗教学会第 76 回 令和 4 年度学術大会 (國學院大學)
宗教と認知行動的セルフモニタリングに関する研究 ー心理支援における宗教の役割と可能性ー	2023 年 5 月	第 64 回印度学宗教学会学術大会 (東北大学)
宗教と認知行動的セルフモニタリングに関する研究 ー心理支援上の宗教の役割ー	2023 年 9 月	宗教研究第 96 巻別冊 第 82 回学術大会紀要 日本宗教学会 (東京都立大学)
スピリチュアリティと認知行動的セルフモニタリング	2024 年 5 月	第 65 回印度学宗教学会学術大会 (東北大学)
宗教と認知行動的セルフモニタリングー学生相談におけるスピリチュアリティの 意味付けー	2024 年 5 月	日本学生相談学会第 42 回大会 (東北大学)
スピリチュアリティと認知行動的セルフモニタリング(第 3 世代)	2024 年 9 月	宗教研究第 97 巻別冊 第 83 回学術大会紀要 日本宗教学会 (天理大学)
修祓・大祓詞体験による感情・気分及びスピリチュアリティ的認知変容に関する 研究	2024 年 12 月	神道宗教学会第 78 回学術大会 (國學院大學)
修祓・大祓詞祈禱体験によるスピリチュアリティ認知変容に関する研究	2025 年 5 月	第 66 回印度学宗教学会学術大会 (大阪経済大学)

Ⅱ 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本教育心理学会	東京都理事長(2012～現在に至る) 学会誌編集委員(2005～現在に至る) 第 30 回日本学校教育相談学会総会・研究大会 (東京大会)実行委員長(2018)	1980
日本学校教育相談学会		1990
日本学生相談学会		1991
日本心理学会		1994
日本認知行動療法学会		2001
日本宗教学会		2014
印度学宗教学会		2022
日本スピリチュアルケア学会		2024
日本臨床宗教師会		2024
他		

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去 5 年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
日本学術振興会	2015	平成 27 年度 JSPS 科学研究 助成事業(科学 研究費研究成 果公開促進費)	「青年期食行動異常と認知行動的セルフモニタリング」 (心理学分野 学術図書)	
日本学術振興会	2021	令和 3 (2021) JSPS 年度科学 研究助成事業 (科学研究費 研究成果公開	「宗教と認知行動的セルフモニタリングー青年期の適応を通じてー」 (心理学分野 学術図書)	

人間発達研究センター	2022	促進費) 令和4年度研究 助成	「宗教と認知行動的セルフモニタリングー宗教感と適応ー」	
人間発達研究センター	2023	令和5年度研究 助成	「宗教と認知行動的セルフモニタリングースピリチュアリティと感情・行動ー」	
人間学研究センター	2024	令和6年度研究 助成	「宗教と認知行動的セルフモニタリングー心理的支援における宗教的役割ー」	

3. 特記事項

2003	岡山大学 医学部 非常勤講師	(現在に至る)
2006	総務省 消防庁 消防大学校 客員教授	(現在に至る)
2010	JASF 医事科学委員会委員 (臨床心理士)	(現在に至る)
2010	日本キャリア開発協会 JCDA 資格更新講座講師	(現在に至る)
2010	日本産業カウンセラー協会養成・更新講座講師	(現在に至る)
2012	日本学校教育相談学会東京都支部理事長	(現在に至る)
2014	日本学校教育相談学会 学会賞受賞 「学校教育における心理アセスメントとゴールセッティング」	
2015	教員免許状更新講習講座講師「教育の最新事情」	(2020年3月迄)
2017	東京海洋大学感謝状 (保健管理センター学生相談心理カウンセラー永年勤続)	
2017	大学基準協会 大学評価委員	(2021年3月迄)
2017	総務省 消防庁 女性吏員活躍推進アドバイザー	(現在に至る)
2017	厚生労働省国家資格キャリアコンサルタント更新講習会講師「認知行動療法」	(現在に至る)
2018	荒川区 いじめ問題対策委員会委員長	(現在に至る)
2019	目黒区 いじめ問題対策委員会委員	(現在に至る)
2019	国家資格 公認心理士現任者講習会講師 (教育領域、産業領域)	
2020	法務省 矯正研修所研修講師 (教育技法)	(現在に至る)
2020	日本スクールカウンセリング推進協議会認定委員	(現在に至る)
2021	総務省 消防庁 救助技術高度化等検討会委員	(2023年3月迄)
2022	仙台市 自殺対策連絡協議会委員	(現在に至る)
2025	関東臨床宗教師会 理事	(現在に至る)
	他 多数	

